

## 西の湖周辺におけるホンモロコ遊漁による採捕尾数

片岡佳孝・亀甲武志

### 1. 目的

西の湖においては、2011年度から電気ショックカーボートによる外来魚の集中駆除と水田育成によるホンモロコ放流事業が行われており、西の湖流入河川やヨシ帯におけるホンモロコ産卵が回復してきた。それに伴ってホンモロコを対象とした遊漁が盛んになっている。西の湖周辺のホンモロコの資源管理のためには、遊漁を含めた管理策が必要となってきた。

そのため、遊漁実態を明らかにする必要がある、2013年度から遊漁による採捕尾数の推定調査を行ってきた。本年度についても、継続調査を行ったので報告する。

### 2. 方法

遊漁（釣り、投網、たもすくい）によるホンモロコ採捕尾数の推定は、2段階抽出により行った。調査日を1次抽出単位、採捕状況の聞き取りを行った遊漁者を2次抽出単位とした。採捕率や遊漁者数は時期ごとに変化したため、推定は月ごとに分けて行った。推定では、釣りは8時間、投網とたもすくいはそれぞれ4時間行くと仮定して計算した。

推定に必要な情報は、聞き取り調査により行った。聞き取りでは、遊漁者数の把握を行ったのち、無作為に選んだ遊漁者から聞き取りまでの採捕時間と採捕尾数を聞き取った。遊漁者数は、遊漁者数が多くなる午前10時から午後2時に目視により計数した。調査期間は、2016年3月23日から6月6日であった。

### 3. 結果

調査日における総遊漁者数は、1人(4/2)から98人(5/10、15)で推移した。釣りは4月2日が最も多く(91人)、その後減少し5月初旬に終息した。たもすくい、投網は4月以降増加した。投網は、山本川、蛇砂川で5月末ま

で続いた(図1)。

遊漁による推定採捕尾数は、約26万尾(255,789尾)となった。内訳は釣り約4万尾(39,858尾)、たもすくい約2万尾(20,355尾)、投網約20万尾(195,576尾)となった。

西の湖周辺の遊漁は、投網による採捕尾数の割合が高い(図2)。特に蛇砂川、山本川の限定された区間での採捕によるものである。

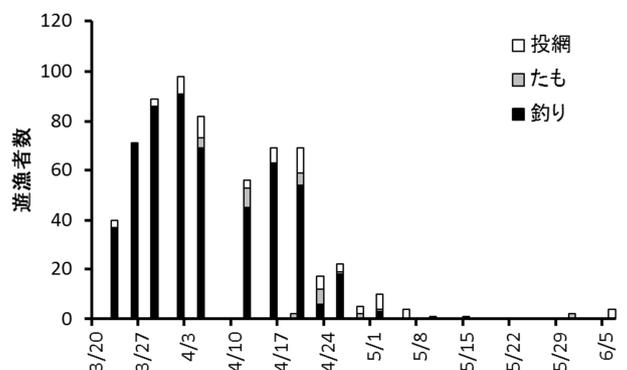


図1 西の湖周辺におけるホンモロコ遊漁者数(2016)

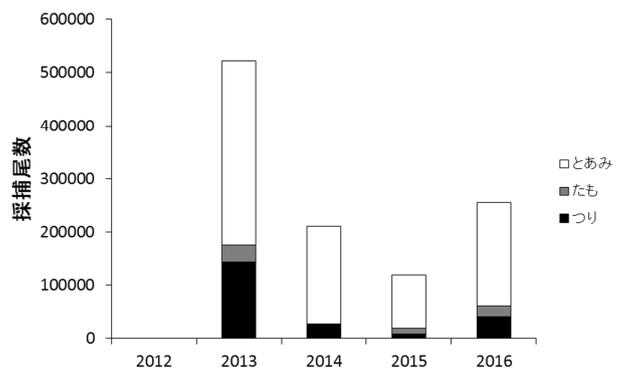


図2 西の湖周辺におけるホンモロコ遊漁漁獲尾数の推移(2012-2016)